

いいだ未来デザイン2028戦略計画【平成29(2017)年度】
当事者目標一覧

H30.8.24

1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	1-① 「新たな産業振興の拠点」の形成	
	(1) 旧飯田工業高校の体育館棟の整備	工業課
	(2) 航空機分野の高度人材育成と航空機システム研究	工業課
	(3) 産業センターが所有・導入する試験機器等について企業等による利用を促進	工業課
	1-② 新たな産業分野、地域産業の高付加価値化への挑戦	
	(1) 航空宇宙産業クラスターに参加する企業及び従業員の専門人材育成	工業課
	(2) メディカルバイオクラスターに参加する企業の共同研究や新商品の開発	工業課
	(3) 食品産業など地域に根付いた企業の新商品開発と販路拡大	工業課
	(4) 地域産材を使用した住宅づくり	林務課
	(5) 農畜産物の産地強化・新マーケット開拓	農業課
	1-③ 地域産業の担い手確保	
	(1) 高校生に対する長期休暇を活用したインターンシップ制度	産業振興課
	(2) 意欲ある農業の担い手・新規就農者	農業課
	(3) いいだ森林学校の受講者と林業現場における技能者	林務課
	(4) 若者等で起業・創業を目指す者の支援	金融政策課、商業・市街地活性課
	1-④ 産業用地の整備と戦略的な企業誘致の推進	
	(1) 環境に配慮した新たな産業団地整備	工業課
	(2) 新たな企業の進出や事業拡大による新たな立地	工業課
	(3) 南信州地域産業活性化基本計画の見直し	工業課
2	飯田市への人の流れをつくる	
	2-① 飯田だから実現できるライフスタイルの提案	
	(1) 移住相談から定住まで一貫して支援する仕組み	産業振興課、ふるさと定住支援課
	(2) 農ある暮らし等飯田ならではのライフスタイルの実現	農業課
	(3) クリエイターや社会起業家等の外部人材	IIDAブランド推進課
	(4) 宇宙留学サマーキャンプの参加対象	生涯学習・スポーツ課
再掲	(5) 「信州やまほいく」認定	子育て支援課
再掲	(6) 飯田コミュニティスクールを推進するため	学校教育課
再掲	2-② 【再掲】ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)	
再掲	(1) 地区指定のふるさと納税制度	ふるさと定住支援課
再掲	(2) 田舎へ還ろう戦略	ふるさと定住支援課
再掲	(3) 空き家の活用事例	ふるさと定住支援課
	2-③ 「結いのまち」飯田においでなんしょ	
	(1) 飯田に興味を持って訪れる旅行者	観光課
	(2) 改築後の天龍峡温泉交流館の多様な機能と中心拠点としての役割	観光課
	(3) 遠山郷の観光を切り口にした地域振興策	観光課
	(4) インバウンド観光への適切な対応	観光課
	(5) 観光に利用しやすいWi-Fi環境整備	観光課
	(6) ㈱南信州観光公社の機能強化策について	観光課
	2-④ 地域ブランドの構築と飯田の魅力が伝わるプロモーション	
	(1) 飯田ランキングを多くの投票参加者を得て実施	IIDAブランド推進課
	(2) シティプロモーションの市民サポーター(応援団)	IIDAブランド推進課
	(3) 首都圏等のメディア関係者との連携	IIDAブランド推進課
	(4) 飯田市の知名度・認知度を向上させるためのツール	IIDAブランド推進課
	(5) IIDAブランドの核となる人形劇など20のコンテンツ	IIDAブランド推進課

	(6) 新たな学習手法を導入した南信州・飯田フィールドスタディの学習プログラムの構築と実践企画課	
	2-⑤ 魅力的な中心拠点の形成	
	(1) 中心市街地の来訪者による賑わい	商業・市街地活性化課
	(2) JR飯田駅周辺の機能と役割分担	商業・市街地活性化課
3	地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む	
	3-① 飯田らしい小中連携・一貫教育の推進	
	(1) 中1ギャップによる不登校生徒数を減少させる	学校教育課
	(2) 義務教育9年間の系統的な中学校区ごとの指導計画・学習プログラムを作成する	学校教育課
	3-② 地域と学校がつながる飯田コミュニティスクールの立ち上げと推進	
	(1) 飯田コミュニティスクールを推進するため多くの地域住民が参加できる学校支援活動を活発化させる	学校教育課
	(2) 各校の具体的な取組について関係者で情報を共有する機会を創造する	学校教育課
	(3) 高校におけるコミュニティスクールの立ち上げに向けて高校と地域と連携した事業を展開	学校教育課
	3-③ LG(地域・地球)飯田教育の充実	
	(1) 学校の教科教育の中で「LG(地域・地球)飯田教育」を関連づける研究を学校現場で行う	学校教育課
	3-④ ICTを活用した教育課題への対応	
	(1) 遠山中学校区3校でICTを活用した実証検証を小規模校の子供たちの自主性、コミュニケーション能力を高めるために実施する	学校教育課
	(2) 旭ヶ丘中学校区3校でICTを活用した実証検証について、特別支援学級、不登校児童・生徒に対する子供たちの学習機会を確保し、学習意欲を高めるために実施する	学校教育課
	(3) 竜東中学校区4校でICTを活用した実証検証について、問題解決型学習の実践による子供たちの思考力・判断力・表現力を育むために実施する	学校教育課
	3-⑤ 高校生を対象とした地域人教育の推進	
	(1) 地域資源と教育資源を「地域人教育」によりつなげる	公民館
	(2) 高校生講座による「LG(地域・地球)飯田教育」を小中学校などの学習素材とする	公民館
	(3) 当地域の高校生の意欲的なまちづくり活動などをコーディネート及び支援する	公民館
4	自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす	
	4-① 「伊那谷の自然と文化」への玄関口 飯田市美術博物館の魅力度アップ	
	(1) 菱田春草の作品・資料について所蔵・寄託物を増やすとともに常設展示化する	美術博物館
	(2) 博物(自然・人文)部門の常設展示について更新計画を策定する	美術博物館
	(3) ドームシアターの新番組を制作・公開する	美術博物館
	4-② 国指定の史跡名勝の保存・整備・活用	
	(1) 恒川官衙遺跡について史跡公園の整備に向けた取組を進める	生涯学習・スポーツ課
	(2) 飯田古墳群について史跡指定事実と価値を周知する 保存活用計画の策定を進める	生涯学習・スポーツ課
	(3) 名勝天龍峡についてガイド機能の整備計画を策定する	生涯学習・スポーツ課
	4-③ 人形劇の世界都市としての推進力・求心力の向上	
	(1) 30年度の世界人形劇フェスティバルの開催に向けて計画準備する	文化会館
	(2) 30年度のAVIAMA総会の開催に向けて計画準備する	文化会館
	(3) AVIAMA加盟都市拡大に向けて勧誘する	文化会館
	(4) 人形劇文化の振興に役立つ史資料について収集・保管・活用に関する方針をまとめる	文化会館
	(5) 人形劇のまち飯田の新モニュメントについて30年度の世界フェス、AVIAMA総会までに整備できるよう取り組む	文化会館、商業・市街地活性化課
	4-④ 「地域振興の知の拠点」の形成に向けた取組みの推進	
	(1) 地域振興の知の拠点構想を策定する	生涯学習・スポーツ課
	(2) 飯田市歴史研究所を別施設に移転する	歴史研究所
	4-⑤ 遠山郷の魅力の顕在化と情報発信	
	(1) 遠山郷の地域資源について市文化財指定と調査研究を進める	生涯学習・スポーツ課
	(2) 霜月祭の保存継承について観覧条件・広報の基準づくりについて検討する外部人材の支援意向のある地区の支え手・担い手を確保する	生涯学習・スポーツ課、美術博物館
	(3) 遠山郷の歴史的景観について刊行物を発刊する	歴史研究所

	(4) 南アルプス ジオパーク・エコパークについて情報発信機能を高める	美術博物館
5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	5-① 信頼と絆で応援、健康な子育てのまちづくりの推進	
	(1) 子育て世代の経済的負担軽減	子育て支援課
	(2) 複雑化する子どもの発達支援に対する課題	子育て支援課
	(3) 公立保育園の特別保育のニーズ対応	子育て支援課
	(4) 児童館・センター・クラブの開所時間	学校教育課
	(5) 妊産婦が安心して出産ができる	保健課
	5-② すべての子どもの安心と希望の実現(子どもの貧困対策)	
	(1) 子どもがいる生活困窮世帯(ひとり親家庭等)	福祉課、子育て支援課
	(2) 児童虐待の件数を減少させる	子育て支援課
	(3) 就学援助における学校給食費の全額援助	学校教育課
	5-③ 「飯田版！上質な子育て環境」づくり	
	(1) 「信州やまほいく」の認定取得	子育て支援課
	(2) 飯田市版の「地域と連携した自然型保育」の研究	子育て支援課
	(3) 子育て情報誌「みんなで子育てナビ」の充実	子育て支援課
	(4) 子育て情報を携帯端末で得られる環境づくり	子育て支援課
	5-④ 結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援	
	(1) カップル成立・結婚成立70組15人を目指す	福祉課
	(2) 将来子どもを持つこととなる市民の出産に対する知識の啓発	保健課、福祉課
	(3) 不妊や不育を心配している夫婦の精神的かつ経済的負担の軽減	保健課
6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす		
	6-① 地域、家族とともに進める健康づくり	
	(1) 国保世帯の62歳健康づくり家庭訪問を訪問率78%以上にする	保健課
	(2) 重症化予防対象者への保健指導後一度でも医療機関を受療した人を60.5%にする(受療率)	保健課
	(3) 飯田市子宮頸がん検診推計受診率を推計受診率18.0%以上にする	保健課
	6-② 介護予防の推進	
	(1) いきいき全教室で10分間以上の運動 実施する人数を8,000人以上とする	保健課
	(2) 介護予防サポーターを新規で20人養成する	長寿支援課
	(3) 住民組織による介護予防教室の実施会場を2会場増加させる	長寿支援課
	(4) 各種介護予防教室の参加実人員を4,200人に増やす	長寿支援課
	6-③ みんなで食べよう楽しい食事(食育の推進)	
	(1) 朝食・夕食を家族と一緒に食べる「共食率」を朝食59%以上、夕食65%以上にする	保健課
	(2) 20～30歳代の一般男性と消防団員の朝食欠食率を一般の20歳代男性34%以下、30歳代男性22%以下にする 消防団20歳代男性35%以下、30歳代男性30%以下にする	保健課
	6-④ 歩こう動こう プラステン(+10分)	
	(1) プラステン(+10分)を実践している人の割合を32%以上にする	保健課
	(2) 週1回以上運動をする市民の割合を40%以上にする	保健課
	6-⑤ 歯と口の健康づくり	
	(1) 3歳児でむし歯のない人を83.0%以上にする	保健課
	(2) いきいき教室参加者への口腔ケア指導を200人以上に実施	保健課
7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる		
	7-① 多様な主体による日常生活における支援	
	(1) 住民支え合いマップを活用した日常生活における支援	福祉課
	(2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可 社会福祉事業者1者以上が地域福祉部門で新規参入する	福祉課

	(3) 全ての地区の移動制約者が移手段を確保する	福祉課
	(4) 見守り協定を3件以上締結する	福祉課
	(5) 高齢者の日常生活における地域福祉課題について域住民などと専門職(医療・介護など)が地域ケア会議の場で議論する	長寿支援課
	(6) 多様な主体が参画する協議体を立ち上げる	長寿支援課
	(7) 事業立上げの意志のある者2人以上が事業化を具体的に検討する	長寿支援課
	7-② 認知症の人とその家族を支援する連携機能の充実	
	(1) 認知症に関する相談者について介護、医療につなげる	長寿支援課
	(2) 認知症サポーター養成講座について受講者400人にする	長寿支援課
	(3) 認知症介護者のつどいについて参加者60人	長寿支援課
	(4) 地域包括支援センターでの介護者からの相談	長寿支援課
	(5) 成年後見制度の講演会、研修会等の参加者をのべ400人以上	長寿支援課
	7-③ 地域とともに創る障がい児・者との共生社会の実現	
	(1) 障がい者理解啓発事業について2事業500人参加する	福祉課
	(2) 障がい児・者に対する虐待防止に向けた支援	福祉課
	(3) 障がい児・者の居住生活を地域全体で支えるサービス体制の構築	福祉課
8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	
	8-① ふるさとパワーアップ! 20地区の個性を輝かせる(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)	
	(1) 地区指定のふるさと納税制度	ふるさと定住支援課
	(2) 田舎へ還ろう戦略	ふるさと定住支援課
	(3) 空き家の活用事例	ふるさと定住支援課
	8-② 地域課題に対応するための事業体の立ち上げと運営の支援	
	(1) 地域課題を検討、あるいは田舎へ還ろう戦略を実施する中で新たな事業体立ち上げに必要な仕組みを研究	ふるさと定住支援課
	8-③ 地域自治を守り育むための仕組みづくり	
	(1) 市から地域への委託事業等について	ムトスマちづくり推進課
	(2) 各地区で、地区内の事業実施について	ムトスマちづくり推進課
	(3) 地域自治組織の制度について	ムトスマちづくり推進課
	(4) 組合加入促進コーディネーター活動	ムトスマちづくり推進課
	8-④ 中山間地域をもっと元気にしてみまいか	
	(1) 中山間7地区の共通する課題1年1点の重点対策	ふるさと定住支援課
	(2) 地域おこし協力隊の導入	ふるさと定住支援課
	(3) 中山間7地区の共通する課題次年度における1年1点の重点対策の検討	ふるさと定住支援課
9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	
	9-① 誰もが安心して地域で活躍できる、ひと・まちづくり	
	(1) 従業員100人以上の事業所30%の事業所が女性活躍推進一般事業主行動計画を立て	男女共同参画課
	(2) 世代に応じた消費者教育を受ける機会を創出する	男女共同参画課
	(3) 特殊詐欺被害撲滅に取り組む	男女共同参画課
	9-② 市民活動団体のパワーアップ!	
	(1) 市民活動が活発となる内容、体制等について研究し、新たな団体の立ち上げや交流を進めるための実行部隊組織を立ち上げる	ムトスマちづくり推進課
	9-③ 共生のためのユニバーサルデザイン	
	(1) 集会施設のバリアフリーの実態把握と支援策の研究	ムトスマちづくり推進課
	9-④ 多様性を地域に活かす言語バリアフリー	
	(1) 外国人住民災害に対する備えができ、災害や疾病の際にコミュニケーションがとれる	男女共同参画課
	(2) 外国人児童生徒等地元で進学・就職する機会が増す	男女共同参画課
10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	10-① 環境意識を醸成する人づくり地域づくり	
	(1) 市民が環境学習プログラムを利用しやすくなる	環境課

	(2) 園児(幼児)が野外において自然環境保全に関する活動などを体験できるようにする	環境課
	(3) 環境啓発メール「いいだ環境通信」を配信して、意識啓発する	環境課
10-②	再生可能エネルギーで進める持続可能な地域づくり	
	(1) 地域団体が地域環境権を行使し地区内小中学校等で再生可能エネルギー事業を実施	環境モデル都市推進課
	(2) かみむら小水力株式会社と飯田市が発電事業に必要な詳細設計を完了する	環境モデル都市推進課
	(3) 200件の市民が新たに太陽光発電設備を設置し温室効果ガスの削減に寄与する	環境モデル都市推進課
10-③	リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり	
	(1) リニア駅周辺整備基本計画における再生可能エネルギー活用方針を決定する	環境モデル都市推進課
	(2) 地域の気候風土にあった省エネ建築方針(新築・改修)を研究する	環境モデル都市推進課
	(3) 渋谷区民と飯田市民がカーボンオフセット(温室効果ガス排出削減活動)を見据えた交流	環境モデル都市推進課
10-④	地域ぐるみで取り組むエコ活動・エコライフの推進	
	(1) 各社が2015年版ISO規格へ対応した上で、地域ぐるみ環境ISO研究会が南信州いいむす21規格改訂に向けた研究に着手する	環境モデル都市推進課
	(2) 地域内の高校・短大が南信州いいむす21を活用して環境改善活動に取り組む	環境モデル都市推進課
	(3) 地域ぐるみ環境ISO研究会と飯田市が家庭部門の省エネの実態把握と推進方法を研究	環境モデル都市推進課
10-⑤	ユネスコエコパークから広がる森と動植物の保全	
	(1) 南アルプスユネスコエコパーク・ジオパークの魅力を語るガイドの養成	環境課、林務課
	(2) 希少動植物の保全に取り組む団体等と飯田市が連絡会を開催して生息区域などの情報	環境課、林務課
	(3) 多様な主体(市民、事業者、NPO等)が継続的な普及啓発活動が出来るよう、組織体制と活動拠点の基盤づくりに着手する	環境課、林務課
10-⑥	リニア時代を見据えた生活環境保全	
	(1) リニア中央新幹線等の大型工事の着工前、工事中、終了後において必要に応じて環境測定等をおこなう。	環境課
11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	
11-①	命と生活を守る市民防災力の向上	
	(1) ハザードマップ更新に合わせわが家の避難計画等の作成を行う	危機管理室
	(2) 要支援者宅の家具転倒防止推進	危機管理室
11-②	みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり	
	(1) 避難所の開設訓練を全20地区において取組む	危機管理室
	(2) 消防団員定員1345名の確保を目指す	危機管理室
	(3) 高齢者の交通人身事故件数をH28年対比で50%減を目指す	危機管理室
11-③	緊急・災害時の情報伝達や収集機能の向上	
	(1) 土砂災害警戒区域内の住民に対し2回の訓練時に連絡網を確認し、対象者全てに連絡	危機管理室
	(2) 防災行政無線について年度中に実施設計完了 整備計画の提案を行う	危機管理室
11-④	災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化	
	(1) 緊急輸送路に関わる橋りょうについて55橋の長寿命化を図る	土木課
	(2) 河川災害危険箇所及び集中豪雨危険箇所について対策工事を行う	土木課
	(3) 緊急避難場所となる都市公園について危険施設の修繕整備を完了する	土木課
	(4) 妙琴浄水場の浄水施設について第1期更新整備を行う	水道課
12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
12-①	「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」としてのリニア駅周辺の整備	
	(1) リニア駅周辺整備基本設計についてH30年度に完了する	リニア整備課
	(2) リニア駅周辺の景観・環境・魅力づくりについての検討	リニア整備課
	(3) 用地測量、物件調査についてH31年度完了する	リニア整備課
12-②	駅勢圏(駅の利用が見込まれる地域)拡大に向けた道路ネットワークの強化	
	(1) 座光寺スマートICの用地範囲・用地補償費 確定し、契約を進める(用地補償算定完了)	国県関連事業課
	(2) 県事業に関係する市道改良計画の策定	国県関連事業課
	(3) 長野県等のリニア関連事業の地元調整	国県関連事業課

	(4) 道路ネットワークの強化に向けた計画について具体的整備に向けた手法及びスケジュールを検討する	国県関連事業課
	12-③ リニア時代を見据えた土地利用計画の策定	
	(1) 土地利用計画の変更について見直し案をまとめる	地域計画課
	(2) 都市計画の変更について見直し案をまとめる	地域計画課
	12-④ リニア事業に関連する社会基盤の整備	
	(1) リニアにより影響を受ける道水路について用地測量等が完了している状態にする	リニア推進課
	(2) 代替地について整備計画が策定されている状態にする	リニア整備課
	12-⑤ リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現	
	(1) リニア時代に向けた二次交通のあり方について将来を展望した検討や検証、課題の整理	リニア推進課
	(2) 持続可能な地域公共交通の在り方について関係機関とともに検討し、再構築する	リニア推進課
	12-⑥ リニア時代を見据えたICTの活用とその基盤の整備	
	(1) 人の流れを創り出すICTの活用方針について外部の専門家と一緒に検討する	IIDAブランド推進課